

## 建設学部 ディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

本校建学の目的を踏まえ、以下の能力や資質を身につけ、修得した学生に卒業を認め専門士を授与する。

1. 基礎知識の修得  
建設産業の分野に関する基礎知識を身につけている。
2. 専門知識・技術の修得  
学科ごとに掲げる専門分野の知識を修得している。
3. 社会性の修得  
社会から喜ばれる人柄を備えた人材で他者と協力して目的を達成する人間力を身につけている。

## インテリアデザイン科のアドミッションポリシー【AP：入学するにあたり】

1. 『ものづくり』に対して興味・関心があり建築インテリア業界への就職を目指して努力すること。
2. 将来、社会や地域の発展のために貢献したいと思っていること。
3. チームワークに必要な協調性があり、他者とのコミュニケーションや関わりを大切にすること。
4. 入学後の修学に必要な基礎学力があること。

## インテリアデザイン科のディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

1. 基礎知識を身につけている。
2. インテリアの専門知識やデザイン技術を習得すると共に、それらを活用し社会に貢献できる。
3. 社会人としての人間力を備え、地域社会においてインテリアの設計・室内装飾の施工技術者として活躍できる。

インテリアデザイン科 (2年制)

最終目標	<p>1級建築士・1級施工管理技士を最終目標に、社会に相応できる即戦力として必要な知識を基礎から段階的に学びます。本学科では、建築の基礎科目に加え、イメージを表現するために必要なデッサン、すべてのものにおいて欠かすことのできない色彩学、これからのデジタル社会に即戦力に対応できるようにIT実習やデジタルデザイン、照明デザインなど、幅広く学習します。実技実習を多く取り入れ飽きの来ない授業を実施します。卒業と同時に『専門士』の称号が付与されます。</p>	
	《 1年次 》	《 2年次 》
授業科目	<p>インテリアの空間イメージを捉えるため、建築の知識を交えた基礎づくりは欠かせません。将来の建築士の受験にも備えて建築計画・法規・構造・施工を中心に学習します。さらに、設計製図の基礎、構造・材料、パースなどを学びます。インテリアは建築の中で生きるものです。きめ細かな仕事をしていくデザイナーを養成するためには建築の知識なしでは語れません。</p>	
	<p>パース、模型、CGの基本表現を学び、イラストレーターやフォトショップ等を利用し、店舗中心の設計課題を実施します。さらにその後、自分の関心のある店舗、住空間、CG、模型などの中から分野を選択し、深く学習することができます。卒業制作で建物や空間をアレンジ・デザインする力はさらにレベルアップ出来ます。また、高度なプレゼンテーション能力も習得出来ます。</p>	
資格	<p>建築製図 (7) 建築CAD (2)</p> <p>建築計画 (3) 環境工学 (2)</p> <p>構造力学 (4) 建築一般構造 (3) 建築材料 (2)</p> <p>建築施工 (4)</p> <p>建築ITⅠ (1)</p> <p>建築インテリアパースⅠ (1)</p> <p>CGⅠ (1)</p> <p>デジタルデザインⅠ (1)</p> <p>照明デザイン (0.5)</p> <p>色彩学 (2)</p> <p>建築インテリア模型 (1)</p> <p>デッサン (2)</p> <p>一般教養 (2)</p>	
	<p>インテリア設計製図 (5) 計画実践 (5)</p> <p>建築デザイン史 (1) 建築設備 (3)</p> <p>建築法規 (3)</p> <p>施工管理 (2) 建築測量実験 (1)</p> <p>建築ITⅡ (0.5)</p> <p>建築インテリアパースⅡ (1)</p> <p>CGⅡ (1)</p> <p>デジタルデザインⅡ (0.5)</p> <p>ファニチュアデザイン (0.5)</p> <p>建築総合演習 (実践) (5)</p> <p>卒業制作・演習 (5)</p>	
<p>建築CAD検定 準1,2,3級 (民間試験 技能4月・10月) : 建築用図面をCADを使って描く技量を測る試験。(1年次)(2年次)</p> <p>2級建築施工管理技士【学科試験】(国家試験6月・11月) : 実地試験合格後に主任技術者となる試験。(2年次)</p> <p>1, 2級建築士試験受験資格 (国家試験(学科)月(8月)・(設計製図)9月(10月) : 卒業(指定科目修得単位取得)後受験できる試験。</p>		

専門教育科目

一般教育科目

建築CAD検定

建築CAD検定

2級建築士・1級建築士  
1級建築施工管理技士

2級建築施工管理技士【学科試験】